

永渕ふみたか通信



佐賀市議会
自民政新会

第10号

平成31年1月4日発行
発行者/永渕 ふみたか



謹賀新年 本年もよろしくお願ひ致します。

佐賀市 11月定例会

11月定例会は、11月30日に開会し、12月20日に閉会しました。補正予算3件、条例3件、その他10件の計16の市長提出議案中、15議案を可決・承認しました。なお、116号議案、佐賀市健康運動センターの指定管理者の指定については、賛成者なしで否決となりました。今回の一般会計の補正予算総額は、約9億6,000万円で補正後の予算総額は、約1,010億5,300万円となりました。

平成30年度補正予算 主な事業

●豪雨災害復旧経費 6億9,731万円 (7月豪雨に係る災害復旧経費)

議員から提出された意見書案4件については、意見書3件が可決されました。(可決された意見書は下記)

- ・相次ぐ災害に対する特別交付税の増額を求める意見書
- ・被災者生活再建支援法の改正を求める意見書
- ・国際貿易交渉発効に伴う持続可能な国内農業に向けた万全な対策を求める意見書



一般質問 佐賀駅周辺整備基本計画の整備方針を聞く！！

質問 ①市道三溝線の愛称の検討状況は？

- ②佐賀駅北口駅前広場のシンボル樹の配植の検討は？
- ③JRとの駅前広場協定の改定は？
- ④特区制度など規制改革の活用は？
- ⑤自動運転のモビリティの市道三溝線導入の検討は？
- ⑥市民からの佐賀駅に関する要望の聞き取りはちゃんと果たしているのか？
- ⑦佐賀駅周辺整備基本計画策定以後のスケジュールは？



答弁 ①今後の地元検討会で意見交換を進める。

- ②具体的な整備内容やデザインは今後、設計の中で検討する。
- ③駅前広場の再整備には管理協定の見直しが必要。
- ④今後、地元検討会で制度活用の可能性も議論したい。
- ⑤安全性に配慮した新たなモビリティに関する情報収集及び情報共有を行う。
- ⑥駅周辺の事業をよく知らないという声もあり、市民への説明や情報発信が不足していた。
- ⑦具体的なスケジュールはないが、ある程度方向性が決まれば市民の意見を広く聞いていきたい。

ここがポイント！ 今回は、番号別に解説します。(①②③⑥⑦は答弁通り。)

④特区制度など規制改革の活用は？

解説 福岡市が、現在実施している国の規制改革メニューに、エリアマネジメントの民間開放いわゆる道路の占用基準の緩和があります。通常、継続して道路を使用する場合、道路の占用に対する許可を得る必要がありますし、歩道上でのオープンカフェの実施やフリーマーケットなどのイベント開催などを行う際には、道路管理者による道路占用許可、またそれに加えて、道路使用許可を受ける必要があります。この適用を除外し、弾力的な道路利用を可能にしていく規制改革メニューというのが、先ほど述べたエリアマネジメントの民間開放です。現在、福岡市は博多駅前前で実施をしています。このような国の特区制度など規制改革のメニューを市道三溝線で活用していくことができないのかを佐賀市に問いました。この件は、今後、地元検討会で制度活用の可能性を議論したいと前向きな答弁をもらうことができました。

⑤自動運転のモビリティ*の市道三溝線導入の検討は？

解説 モビリティというのは、家庭用電気とソーラーパネルで走ります。CO2排出量が少なく、時速20キロ以下しか出ないので安全な乗り物です。また、シートベルト装着や、車体に窓を付ける必要性などがなく開放的な乗り物となっています。このモビリティ車両を、今後増えるであろう自動運転システム搭載の車両として、地域公共交通に導入を検討する自治体が増えています。20キロ以下を遅いという方もおいでかもしれませんが、社会実験においてはA地点からB地点までの一般車両との走行時間の差は40秒しかないという結果も出ています。*



市道三溝線 計画 模型図

*モビリティに関する一部資料を参考にしました。

首相官邸が発行している資料によると、無人自動走行移動サービスの計画は、2020年東京五輪時期に限定地域でのサービス実現が始まり、2025年大阪万博の年には、本格的な無人自動運転サービスの実現がなされるとなっています。人は普段見ることができない風景に心が動かされるものです。2023年佐賀開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の時に、このようなモビリティが運行していれば環境に配慮している自治体として訪れた皆様に当市をPRすることも可能でしょう。質問に対する答弁は、まだはっきりしないものでしたがモビリティに関しての情報収集及び情報共有を行うことを答弁にて約束してくれました。三溝線での自動運転モビリティの導入の意義をこれからも佐賀市には伝えていきたいと思えます。



自動運転の次世代モビリティ

※これは信号や歩行者で止まることのできる道路においては、走行車両はスピードをやみくもにあげることがないからです。

旧富士小学校体育館改修問題で決算不認定！！ 佐賀市健康運動センター指定管理者案 賛成者なしで否決！！ 異例の対応が続く佐賀市議会

報道等でご存知の方も多いことと思われませんが、佐賀市が旧富士小学校体育館を市議会に無断でバスケットボール仕様に改修していた問題は、9月定例会にて市議会が全会一致で昨年度決算を不認定とする事態となりました。また、11月定例会116号議案佐賀市健康運動センター指定管理者案は、現在委託しているサッカーJ1サガン鳥栖の運営会社「サガン・ドリームス」など3社による企業グループに、新たに1社(サガスポーツクラブ)を加える内容だったのですが、総務委員会の審議において、その1社が不安定な経営状況であることと、市が支払う管理料が同社に配分されない再配分率の問題に疑義が生じ議会において賛成者なしで否決となりました。9月定例会の決算不認定も11月定例会の否決も佐賀市の合併以来初めてであり、大変憂慮すべき事態です。先日新聞で読んで印象に残った言葉に「規範が脆弱なら制度は容易に乱用され得る」という言葉があります。今回の事態を機に、佐賀市は、業務との向き合い方、また佐賀市民との向き合い方を改める必要があると感じます。なお11月定例会では、私も団体が4社に増えた場合、経費の配分率に変更が出るのか？とする議案質疑を行いました。



10月6日 新聞記事



12月21日 新聞記事



12月13日 議案質疑登壇

編集後記

神野校区の三溝自治会で市政報告会を行いました。その席上、市民の方が、「佐賀市の副市長が佐賀駅周辺整備構想推進室の室長を務めていらっしゃるって聞きましたが、富士小学校体育館改修問題に関する報道を見るにつけ、計画を主導したとされる副市長が佐賀駅周辺の計画を引っ張っていらっしゃるということに、一市民としてなんだが信用できない気持ちが芽生えています。」とおっしゃいました。今回の件で、繰り返しになりますが市民の皆様にご不安を抱かせている今の現状というのは、大変、憂うべき事態です。佐賀駅周辺整備構想推進室には、今後もこの計画が一部の考え、一部の人のための計画になることのない市民の多くの夢が投影される計画であるよう引き続き尽力していただきたく思います。なお旧富士小学校体育館改修問題に関しては、佐賀市議会総務委員会による所管事務調査を通じての引き続きの真相究明に佐賀市議会の一員として今後も注視してまいります。



三溝地区での議会報告会の様子



質問が新聞に取り上げられました。2018年12月13日掲載

永渕ふみたか

〒849-0928 佐賀県佐賀市若楠3丁目3-23
TEL.0952-38-2323
FAX.0952-33-5176

インターネットで「永渕ふみたか」と検索！！
活動の日々をブログにて発信しています。

お気軽に
ご相談ください。



プロフィール

- 昭和51年8月19日生まれ(42歳)
- 佐賀北高等学校卒(30期)
- 平成29年10月佐賀市議選挙当選(2期目)
- 議会運営委員会 所属
- 佐賀市議会 自民党 自民政新会所属
- 経済産業委員会(副委員長) 所属
- 議会広報広聴委員会 所属
- 市民総参加子ども育成運動推進本部委員
- 若楠校区子ども育成部会 部長
- 若楠校区子ども会会長
- 若楠校区地域子ども教室会長

『永渕ふみたかホームページ』もご覧ください。

↑ <http://nagafuchi-fumitaka.com/>

↑ <https://www.facebook.com/nagafuchifumitaka/>

表面もご覧ください。